

# IMEG パンフレット

**専任分野**

- 細胞医学分野 3  
※ 中尾 尚典
- 分子細胞制御分野 5  
※ 小松 亮
- 発生制御部門 7  
※ 永原 昭良
- 損傷修復分野 9  
※ 立石 賢
- 多能性幹細胞分野 11  
※ 桑 昭英
- 組織幹細胞分野 13  
※ 小川 輝太郎
- 幹細胞誘導分野 15  
※ 江良 顕実
- 肝臓発生分野 17  
※ 横内 裕二
- 脳発生分野 19  
※ 藤村 健治
- 腎臓発生分野 21  
※ 西中村 隆一
- 生殖発生分野 23  
※ 山田 潤

**客員分野**

- 発生制御部門 25  
※ 佐々木 裕之
- 幹細胞部門 26  
※ 山中 伸弥
- 系統発生分野 27  
※ 川上 雅章

**技術職員** 27

**研究担当**

- 発生工学担当 28  
※ 野本 隆
- 幹細胞部門 29  
※ 山田 潤
- 器官構築部門 30  
※ 山村 研一

**大学院先導機構**

- 発生・再生医学分野 31  
※ 石原 聖  
※ 佐藤 将臣

グローバルCOEプログラム 32  
共同利用・共同研究拠点 33  
IMEG Support System 34  
男女共同参画 35  
広報 36  
発生研学生会 36  
大学院入試情報 37



ここだけ、  
という価値。

国内で唯一「発生医学」の名を掲げる研究機関IMEG  
グローバルCOEと共同研究拠点が促す、分野と大学の枠を越えた真理探究の道

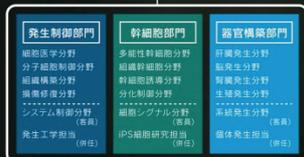


所長  
**小松 光**  
TERAYAMA Mitsuru

2009年4月、「発生医学研究センター」は「発生医学研究所」と改称、同時に改組を行いました。これは、熊本大学が発生医学分野をこれまで以上に推進するという意思表明であり、「発生医学」を標榜する国内唯一の研究機関として、さらなる発展を目指す新たなスタートと位置づけています。

これまで、文部科学省グローバルCOEプログラム「細胞基盤科学研究の国際的人材育成ユニット」において、学生、研究員、教員などが研究分野の枠を越えて協力的に能力を引き出し合う「エンクラム」を中核として、人材育成に力を注いできました。

このたび発生医学研究所は、同省の「共同利用・共同研究拠点認定制度」のもと、文部科学大臣より「発生医学の共同研究拠点」に認定されました。この制度は、国公私立大学の垣界を超えて共同利用・共同研究を行い、日本の科学技術の発展を目指すというもの。発生医学研究所は、「発生医学」という研究分野では唯一の認定拠点です。グローバルCOEと共同研究の推進により、今後の生命科学研究と世界水準の最先端研究者育成に一層の厚みがつくと期待しています。



生きることに向きあい、  
生きることを考える。

発生研は、発生学的視点から生命科学と医学に向き合う研究の現場です。わたしたちの体の中では、たくさんの細胞たちが、とどなく生まれてくる波のように常に不思議な出来事が繰り返られています。いいことも悪いことも含めて、それはすべて生命の営み。その一つひとつの仕組みを明らかにし、ヒトの健康増進につなげること。そして日々、生きることに向き合い、生きることを考えること。それが、発生研に課せられた使命です。

## CONTENTS

発生研の歴史	03
<b>専任分野</b>	
発生制御部門	細胞医学分野 05 分子細胞制御分野 07 組織構築分野 09 損傷修復分野 09
幹細胞部門	多能性幹細胞分野 11 組織幹細胞分野 13 幹細胞誘導分野 15 分化制御分野 17
器官構築部門	脳発生分野 19 腎臓発生分野 21 生殖発生分野 23 肝臓発生分野 25
<b>客員分野</b>	
発生制御部門	システム制御分野 26 幹細胞部門 27
器官構築部門	系統発生分野 28 発生工学担当 29
技術職員	29
<b>研究担当</b>	
幹細胞部門	IPS細胞研究担当 30
器官構築部門	臓体発生担当 31
<b>大学院先導機構</b>	
テニオアトラック制	発生・再生医学分野 32
グローバルCOEプログラム	34
共同利用・共同研究拠点	35
サポートシステム	35
男女共同参画	36
発生研学生会	36
広報活動	36
大学院入試情報	37



## IMEG NEWS LETTER

Institute of Molecular Embryology and Genetics  
熊本大学発生医学研究センター「アイメグ」

2008 春号  
2008 April Vol.07

contents

- 1 今年も大学院入試説明会・見学会を開催します
- 2 新教授・特任助教、着任!
- 3 IMEG REPORT  
 オンラインフォーラム  
 グローバルCOE「創発的国際研究拠点国際人材育成ユニット」  
 キックオフシンポジウム  
 産学連携フォーラム「IMEGの国際シンポジウム」
- 4 昨年好評だった発生の「本九祭」展示企画  
 発生の「ホームページ」より  
 次号予告

### 今年も大学院入試説明会・見学会を開催します

毎年、見学会は発生医学研究センター（現生研）にて、大学院入試説明会・見学会を開催していますが、今年も来る5月24日（土）に開催することになりました。大学院進学を考えている皆さん、また、発生の研究内容・研究環境をその目で確かめてください。見学会で行っている研究は、生命科学と医学・工学を融合する幅広い領域をカバーするため、発生の1/2分科（産学）は、医学部医歯と理学部理学という2つ大学院組織に分かれて実施しています。医学部・理学部に問わず、様々なバックグラウンドをもった大学院生が活躍できる場がここにはあります。特に、産学連携推進から各分野が活躍しています。

文部科学省が推進するグローバルCOEプログラム（国際的に卓越した教育研究拠点の創成と国際的に支える事業）の発生医学研究センターにおいて、今年度から「発生の」の海外拠点の一つ「国際発生医学研究センター国際人材育成ユニット」では、発生の研究センターと連携して、産学連携推進事業「発生の」を推進する国際人材育成コース「発生の」を推進し、国際的に卓越した大学院教育を推進するようになっています。グローバルCOEプログラムや産学連携推進事業により、発生のの発生の学術的・教育的・社会的な発展が期待されています。また、発生のの発生の学術的・教育的・社会的な発展が期待されています。また、発生のの発生の学術的・教育的・社会的な発展が期待されています。

日程 | 5月24日（土）11:00～18:00  
 場所 | 熊本大学発生医学研究センター（熊本市本庄3-2-1）  
 開場 | 12:00～14:00（1階ホール）  
 14:00～17:00（1階ホール）  
 17:00～18:00（1階ホール）  
 18:00～19:00（1階ホール）  
 19:00～20:00（1階ホール）

※申し込みの印刷についてはお問い合わせください。  
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/graduate/entry.html>  
 をご覧ください。



## IMEG NEWS LETTER

Institute of Molecular Embryology and Genetics  
熊本大学発生医学研究センター「アイメグ」

2008 秋号  
Vol.8

contents

- 1 ZOOM UP IMEG  
 大学院入試説明会・見学会開催
- 2.3 INFORMATION 「本九祭」2008 発生研共同企画  
 テーマは「幹細胞」  
 展示企画 / 講演会 / サイエンス・カフェ  
 VIVAL IMEG 第1回発生研スポーツ大会  
 研究室からコートへ!  
 パスをつないで心もつなぐ  
 「発生研学生」発見
- 4 IMEG REPORTS  
 専任の研究者到着  
 COE-発生の共創するスマートリポート2008  
 IMEG, Culture & Arts  
 文化・生活の楽しみませんか?  
 産学連携  
 産学連携推進事業  
 産学連携フォーラム「アイメグ」  
 次号予告

IMEG <http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>

## IMEG NEWS LETTER

Institute of Molecular Embryology and Genetics  
熊本大学発生医学研究センター「アイメグ」

2009 春号  
Vol.9

contents

- 1 ZOOM UP IMEG  
 大学院入試説明会・見学会開催
- 2.3 INFORMATION  
 発生研はセンターから  
 研究所へ変わりました!  
 2009新任教員紹介  
 VIVAL IMEG  
 科学をより身近に  
 本九祭2008企画  
 「幹細胞」レポート
- 4 IMEG REPORTS  
 Joint Forumに参加して  
 グローバルCOEプログラム  
 国際化推進事業  
 産学連携  
 次号予告

研究者への第一歩からここに  
**大学院入試説明会・見学会開催**

熊本大学の全面的な支援により、発生医学研究センターは、この4月に発生医学研究所に改称されました。発生の研究センターは、生命科学の研究者が活躍する場です。大学院進学を考えている皆さん、また、発生の研究内容・研究環境をその目で確かめてください。見学会で行っている研究は、生命科学と医学・工学を融合する幅広い領域をカバーするため、発生の1/2分科（産学）は、医学部医歯と理学部理学という2つ大学院組織に分かれて実施しています。医学部・理学部に問わず、様々なバックグラウンドをもった大学院生が活躍できる場がここにはあります。特に、産学連携推進から各分野が活躍しています。

産学連携推進事業「発生の」を推進し、国際的に卓越した大学院教育を推進するようになっています。また、発生のの発生の学術的・教育的・社会的な発展が期待されています。また、発生のの発生の学術的・教育的・社会的な発展が期待されています。また、発生のの発生の学術的・教育的・社会的な発展が期待されています。

日程 | 6月6日（土）11:00～18:00  
 場所 | 熊本大学発生医学研究センター（熊本市本庄3-2-1）  
 開場 | 12:00～14:00  
 14:00～17:00（1階ホール）  
 17:00～18:00（1階ホール）  
 18:00～19:00（1階ホール）  
 19:00～20:00（1階ホール）

※申し込みの印刷についてはお問い合わせください。  
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>

## IMEG NEWS LETTER

Institute of Molecular Embryology and Genetics  
熊本大学発生医学研究センター「アイメグ」

2009 秋号  
Vol.10

contents

- 1 ZOOM UP IMEG  
 入試説明会・見学会開催
- 2.3 INFORMATION  
 研究・教育の深化を促す  
 「共同研究拠点」  
 2008年度 本九祭  
 発生医学研究所共同企画  
 見て触れてわかる  
 「発生医学」  
 新しい「特任助教と助教が  
 着任しました」  
 高校生が研究体験事業  
 ようこそIMEGへー学生生活編  
 「新入生歓迎」レポート
- 4 IMEG REPORTS  
 Kick-off Symposium for the COE Laboren Laboratory  
 オープンフォーラム開催  
 産学連携推進事業  
 産学連携フォーラム「アイメグ」  
 次号予告

入試説明会・見学会開催

発生の研究センターに改称して初めての入試説明会・見学会を、6月6日（土）に開催しました。学部生21名と大学院生10名が参加したこの見学会は、発生のの発生の研究内容・研究環境をその目で確かめてください。見学会で行っている研究は、生命科学と医学・工学を融合する幅広い領域をカバーするため、発生の1/2分科（産学）は、医学部医歯と理学部理学という2つ大学院組織に分かれて実施しています。医学部・理学部に問わず、様々なバックグラウンドをもった大学院生が活躍できる場がここにはあります。特に、産学連携推進から各分野が活躍しています。

産学連携推進事業「発生の」を推進し、国際的に卓越した大学院教育を推進するようになっています。また、発生のの発生の学術的・教育的・社会的な発展が期待されています。また、発生のの発生の学術的・教育的・社会的な発展が期待されています。また、発生のの発生の学術的・教育的・社会的な発展が期待されています。



# 入試説明会ポスター

「こ」で世界をわたり合う  
熊本の生命科学者・医学者・農林水産学・工学・経済学・法学・文学・教育学・医学・看護学・歯学・薬学・理学・工学・農学・芸術学・国際学・総合学・国際学・総合学・国際学・総合学

生命のメカニズムに迫り、若き研究者を育てる。  
熊本大学発発生医学研究センター

## 大学院入試説明会 見学会開催

■日時/平成20年5月24日(土)11:00~16:00 ■場所/熊本大学発発生医学研究センター

●説明会/12:00~14:00 (場所:1階カンファレンス室)  
センターの概要・特色・大学院の仕組み・入試の仕組み、各分野の研究内容、在籍生からのメッセージ(発生源/フレンド/関係者/関係者)も実施。

●見 学/11:00~16:00 (各分野:説明会の前後に各分野を自由に見学できます。)

熊本大学発発生医学研究センター 〒860-0811 熊本県熊本市東区 096-373-5786  
TEL:096-373-6637 E-mail: imeg@kumamoto-u.ac.jp

熊本大学発発生医学研究センター  
TEL:096-373-5786 E-mail: imeg@kumamoto-u.ac.jp

## 熊本大学 発発生医学研究所

# IMEG

Institute of Molecular Embryology and Genetics

「生命科学のフロントランナー」  
国際的に優れた若手研究者を育成する文部科学省のグローバルCOEプログラムに生命科学系で採択された全国13施設のひとつ

## 大学院入試 説明会・見学会

■日時/平成21年6月6日(土)11:00~16:00  
■場所/熊本大学発発生医学研究所(熊本市本庄2-2-1)

●説明会/12:00~14:00 (場所:1階カンファレンス室)  
研究内容の概要・特色・大学院の仕組み・入試の仕組み、発生源/フレンド/関係者/関係者、学生からのメッセージ(関係者は優先優先)も実施。

●見 学/11:00~16:00 (各分野:説明会の前後に各分野を自由に見学)

熊本大学発発生医学研究所 〒860-0811 熊本県熊本市東区 096-373-5786  
TEL:096-373-5786 E-mail: imeg@kumamoto-u.ac.jp

熊本大学発発生医学研究所  
TEL:096-373-5786 E-mail: imeg@kumamoto-u.ac.jp

2008 年度

## 熊本大学発発生医学研究所

研究という名の、新しい絵を描く

## 大学院入試説明会・見学会開催

■日時/2010年4月24日(土)11:00~16:00  
■場所/熊本大学発発生医学研究所(熊本市本庄2-2-1)

●説明会/12:00~14:00 (場所:1階カンファレンス室)  
研究内容の概要・特色・大学院の仕組み・入試の仕組み、発生源/フレンド/関係者/関係者、学生からのメッセージ(関係者は優先優先)も実施。

●見 学/11:00~16:00 (各分野:説明会の前後に各分野を自由に見学できます。)

熊本大学発発生医学研究所 〒860-0811 熊本県熊本市東区 096-373-5786  
TEL:096-373-6637 E-mail: imeg@kumamoto-u.ac.jp

2010 年度

2009 年度

## 熊本大学発発生医学研究所

生きることに向かい、  
生きることを考える。

## 大学院入試 説明会 軽食付き・見学会

■日時/平成23年4月23日(土)11:00~16:00  
■場所/熊本大学発発生医学研究所(熊本市本庄2-2-1)

●説明会/12:00~14:00 (場所:1階カンファレンス室)  
研究内容の概要・特色・大学院の仕組み・入試の仕組み、発生源/フレンド/関係者/関係者、学生からのメッセージ(関係者は優先優先)も実施。

●見 学/11:00~16:00 (各分野:説明会の前後に各分野を自由に見学)

熊本大学発発生医学研究所 〒860-0811 熊本県熊本市東区 096-373-5786  
TEL:096-373-5786 E-mail: imeg@kumamoto-u.ac.jp

2011 年度



# 難病研究資源バンクパンフレット



## 難病研究資源バンクとは

難病とは、症例数が少なく、原因不明で、治療方法が確立しておらず、生活面への長期にわたる支障がある疾患のことです。このように、難病は、患者の皆様が大変困難な生活を強いるものであるとともに、研究者にとっても研究の難しい疾患です。

難病の研究においては、当該疾患の生体試料等（血液、細胞、DNA 等）が重要な役割を果たします。しかし、難病患者の生体試料を入手することは、医学研究者ですら困難です。

そこで、厚生労働省は、難治性疾患克服研究事業により収集された患者試料等を集中化して品質管理を行う「難病研究資源バンク」（以下「難病バンク」という）を創設しました（2009年）。難病バンクは、難病研究資源を収集し、品質管理された試料等を公正に提供し、難治性疾患克服研究の推進を図ることを目的としています。

本研究事業は、患者の権利保護、研究利用の倫理的課題など、法的・倫理的及び権利調整が重要課題であり、患者と専門家の意見を反映しつつ問題に対応する事業体制をとって進めます。

発生医学研究所では、

幹細胞誘導分野の江良択実教授が中心となって、平成 21 年度から難治性疾患からの疾患由来の人工多能性幹細胞（iPS 細胞）の作製とそれを利用した難病研究を行っております。難治性疾患（難病）は、その多くに遺伝性の疾患が含まれ発生医学の研究が原因解明、治療方法の開発に大きく役立ちます。しかしこれまでは、発生医学の研究成果を生かそうとしても、難病は患者数が限られるために生体試料（細胞、血液や DNA 等）が非常に少なく、このことが研究を行う上で大きな障害となっていました。この問題点を疾患由来の iPS 細胞を作ることで解決し、難病研究を進めています。

《研究のテーマ》

1. 外来因子フリー難治性疾患由来 iPS 細胞の委託作製とそのバンク化の研究
2. 作製した iPS 細胞を用いての難病の原因解明や新しい治療法・治療薬の開発

